

9. 技術開発、調査、研究の拡充

大阪市水道局の技術開発に係る官民共同研究

研究課題	共同研究者	研究期間	研究内容
凝集沈澱処理におけるフロック形成攪拌方式の効率化に関する研究	(株)クボタ	平成14年1月～ 平成16年3月	フロック形成攪拌に関する実験設備を柴島浄水場内に設置し、連続的な運転性能評価を行うことにより、処理特性、水量・水質不可変動に対する適応性及び最適処理条件等の緒元の把握を行った。
建築物からの大規模ミスト散布による面的冷却等に係る研究開発	(株)いけうち	平成22年7月～ 平成24年3月	ヒートアイランド現象の影響を受けた都市レベルの熱環境の早期改善を目的とした水道水ミスト散布の大規模導入技術（大規模ミスト散布）の開発を行った。
太陽光発電パネル散水冷却システムの研究開発	パナソニック電工（株）	平成23年4月～ 平成25年3月	太陽光発電パネルの表面温度上昇に伴う発電効率の低下に対し、水道水を冷却水として活用することで発電効率の改善を図る技術の開発を行った。
迅速性のある低コストの管路耐震化工法の研究開発	大成機工（株）	平成23年4月～	早期の高規格耐震管路への更新を実施するため、道路掘削回数の削減など、お客様に迷惑がかからない低コストで迅速性のある新たな施工手段の研究開発を行なっている。
広範囲の既設管に適用可能な更生工法の研究開発	積水化学工業（株）	平成23年11月～ 平成26年3月	更新困難な経年管路の更生による漏水事故未然防止及び給水安定性向上や漏水発生管の早期修繕等を目的として、小口径から中大口径管路に至る様々な口径における、非開削による既設管更生（延命化）工法の研究開発を行った。